

『ケイザイアンポ』ってナンボのもの？

～安保三文書と混ざって危険な経済安全保障法(経済安保法)～

許すな！軍事大国化！

日時

2023年6月17日(土)

14時～16時

会場

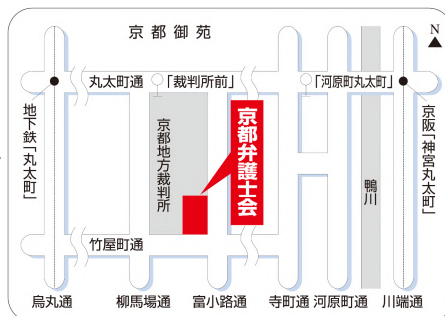
京都弁護士会地階大ホール

〒604-0971

京都市中京区富小路通丸太町下ル

13時30分開場

(※先着100名)



2022年5月11日に経済安全保障法(経済安保法)が成立しました。「経済安全保障」という言葉からは、「食料やエネルギー自給率の向上」というイメージが浮かびますが、実際はそのようなものではなく、民間人による経済活動と科学技術研究を軍事と一体化させて統制を強めるという内容であると指摘されています。昨年末に閣議決定された安保三文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画)が指し示す、この国の危険な方向性を支える役割を果たすという指摘もあります。また、特定秘密保護法同様に、『情報を漏洩した』と時の権力者が判断したら民間人であっても逮捕され、起訴されると最高懲役10年が科せられるという法改定が行われるかもしれないとの報道もあります。この問題に詳しい井原聰先生から同法の問題点のご講演を頂いた上、海渡雄一先生とのパネルディスカッションを通じてこの問題についての認識を深めたいと思います。

オンライン



当日、お時間になりましたら左のQRコードまたは下のURLからご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/84519220710>

申込不要・参加費無料



講師

井原 聡 (いはら さとし) さん

1941年東京生まれ、東北大学名誉教授、日本科学者会議前事務局長、大学フォーラム事務局長。科学史・技術史の立場から現代科学や技術のあり様について批判的に論じてきた。科学者の軍事動員、大軍拡路線、軍需産業・軍事工廠の復活を、なんとしても押し返したいと行動している。「経済安全保障戦略に動員される科学・技術、研究者」(『世界』2022.3)、「アカデミアの軍事動員——経済安保法「官民協議会」の企図」(『世界』2022.8)「大軍拡の中で急がれるセキュリティ・クリアランス制度の法制化の問題点」(軍学共同反対連絡会ニュース77号、2023.3.)等著作多数。



パネラー

海渡 雄一 (かいど ゆういち) さん

1955年兵庫県生まれ、弁護士(第二東京弁護士会所属)。日弁連拘禁二法案対策本部委員(現刑事拘禁制度改革実現本部、事務局長、本部長代行など歴任)、日弁連公害対策環境保全委員会委員(副委員長、エネルギー原子力部会長などを歴任)、元日弁連事務総長。



京都弁護士会

KYOTO BAR ASSOCIATION

主催 京都弁護士会

☎ 075-231-2337

<https://www.kyotoben.or.jp/>

共催 日本弁護士連合会(予定)